

### 3 「地域の安全」の実感

#### ① 分野別実感の概況

##### ア 分野別実感の推移

実感平均値は 3.72 点であり、基準年調査より 0.10 点低下しています。

t 検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に低下していることから、当該分野の実感は低下していると考えられます。

##### イ 属性別の状況

##### ○ 令和 4 年県民意識調査の状況

- ・ 職業別では、「臨時雇用者」が低く、「家族従業員」が高くなりました。

##### ○ 令和 4 年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表 4 のとおりでした。

表 4 「地域の安全」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R 4	R 4 -H31
県計		3.82	3.72	▲ 0.10
性別	男性	3.84	3.75	▲ 0.09
	女性	3.80	3.70	▲ 0.11
年代	60～69 歳	3.80	3.69	▲ 0.10
	70 歳以上	3.91	3.73	▲ 0.17
職業	60 歳以上の無職	3.86	3.64	▲ 0.21
世帯構成	夫婦のみ	3.86	3.69	▲ 0.17
	3 世代世帯	3.89	3.73	▲ 0.17
子の人数	1 人	3.80	3.66	▲ 0.15
	2 人	3.85	3.73	▲ 0.12
居住年数	20 年以上	3.83	3.72	▲ 0.11
広域振興圏	県央広域振興圏	3.87	3.76	▲ 0.11
	沿岸広域振興圏	3.82	3.67	▲ 0.15

#### ② 分野別実感が低下した要因

- ・ 県民意識調査の結果、実感が有意に低下した属性は、表 4 のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。
- ・ 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」で、実感が低下した人の回答理由は以下のとおりでした。
  - (ア) 自然災害の発生状況
  - (イ) 自然災害に対する予防（堤防の建設、避難経路の確保など）
  - (ウ) 犯罪の発生状況
- ・ 補足調査結果において、実感が低下した人の上記回答理由と、実感が横ばい、上昇した人の回答理由を比較しても特徴的な要因は抽出できませんでした。
- ・ 以上を踏まえ、当該分野の実感が低下した要因は、「自然災害の発生状況」「自然災害に対する予防（堤防の建設、避難経路の確保など）」「犯罪の発生状況」であると推測されます。

#### ③ 継続して低値で推移している属性の要因

平成 28 年から令和 4 年までの県民意識調査で、一貫して低水準（3 点未満）で推移している属性はありませんでした。